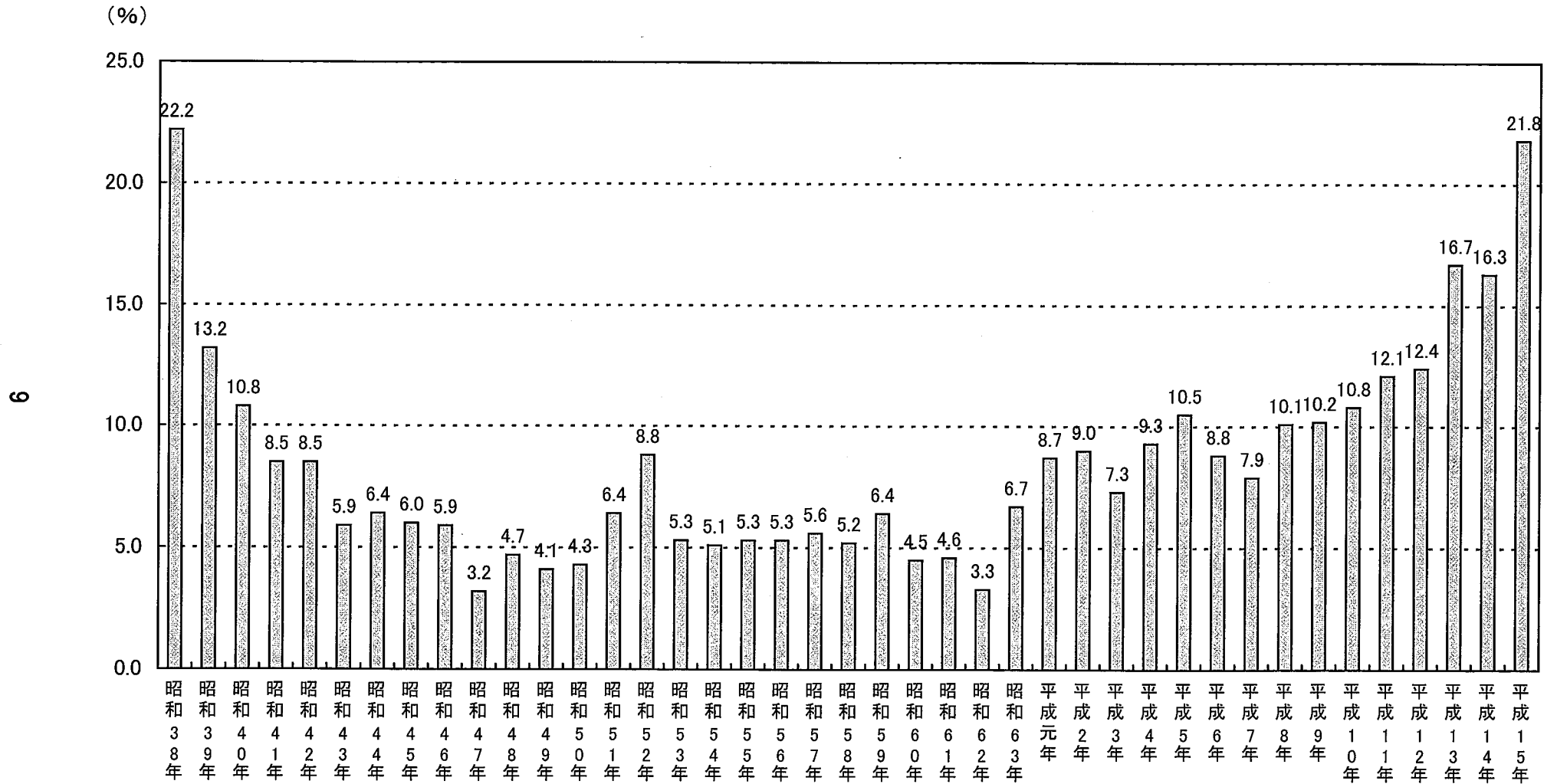


## 住宅ストックの国際比較

	日本	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ
調査時点	平成15年	平成9年	平成3年	平成8年	平成5年
住宅ストック総数(万戸)	5,387	11,235	2,300	2,822	3,380
世帯数(万戸)	4,722	9,949	2,166	2,329	3,288
人口数(99年時点、万人)	12,669	27,313	5,874	5,910	8,209
世帯比	1.14	1.13	1.06	1.21	1.03
人口比	0.43	0.41	0.39	0.48	0.41

資料出所 アメリカ: American Housing Survey 1995 Table 1A-1  
 英国: 1991 Census Report for Great Britain など  
 日本: 平成15年 住宅・土地統計調査(総務省)

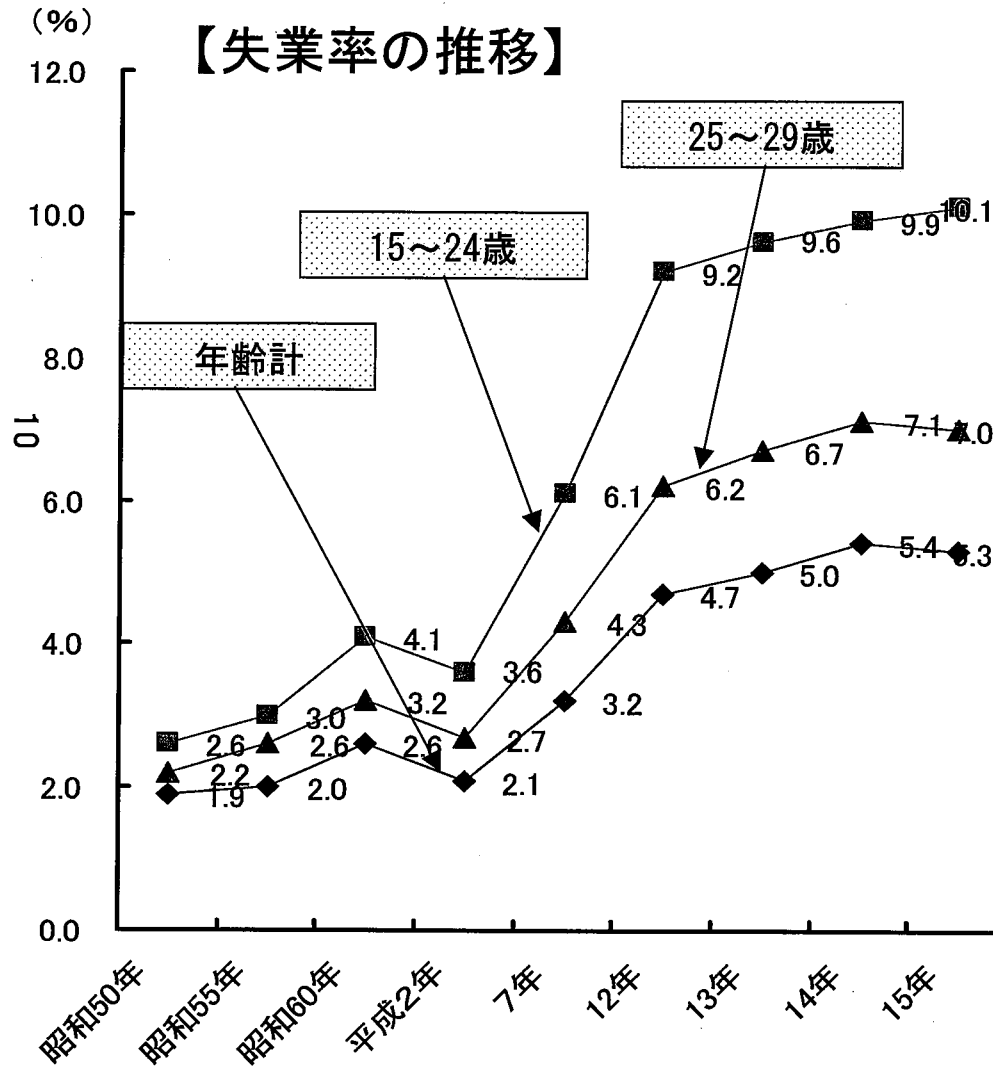
# 貯蓄なし世帯の推移



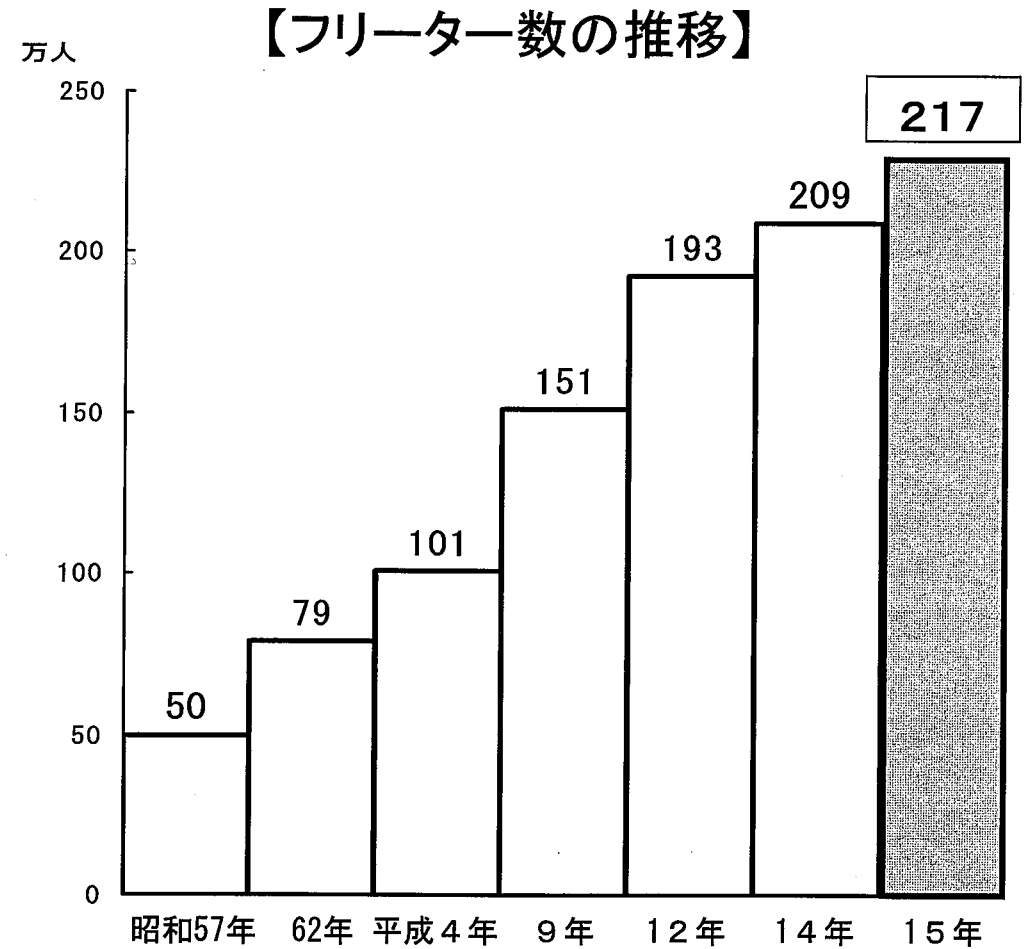
資料出所: 金融広報中央委員会「家計の金融資産に関する世論調査」平成15年

# 若年失業率、フリーターの増加

○ 若年者の失業率は厳しい状況が続いており、特に24歳以下は、近年急速に上昇し、全年齢計の倍程度で推移している。また、「フリーター」の数は、約10年前の101万人から217万人と倍以上に増加している。



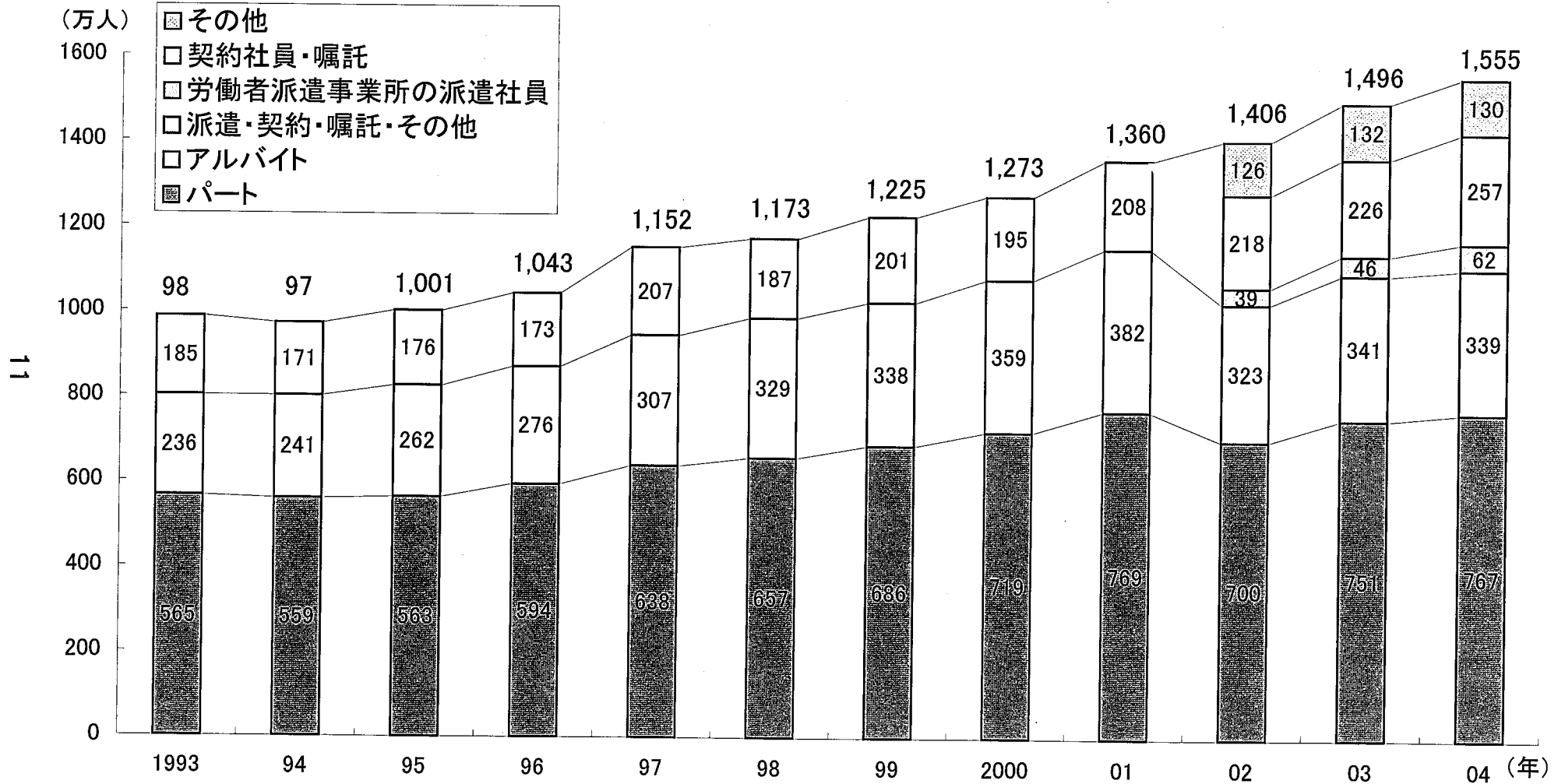
資料:総務省統計局「労働力調査」



資料:総務庁統計局「就業構造基本調査」を労働省政策調査部で特別集計。(～平成9年)  
 総務省統計局「労働力調査詳細集計」を厚生労働省労働政策担当参事官室にて特別集計。(平成14、15年)

# 非正規雇用者数の推移(男女計)

非正規雇用者数は、1993年の986万人から2004年には1,555万人と569万人増加した。



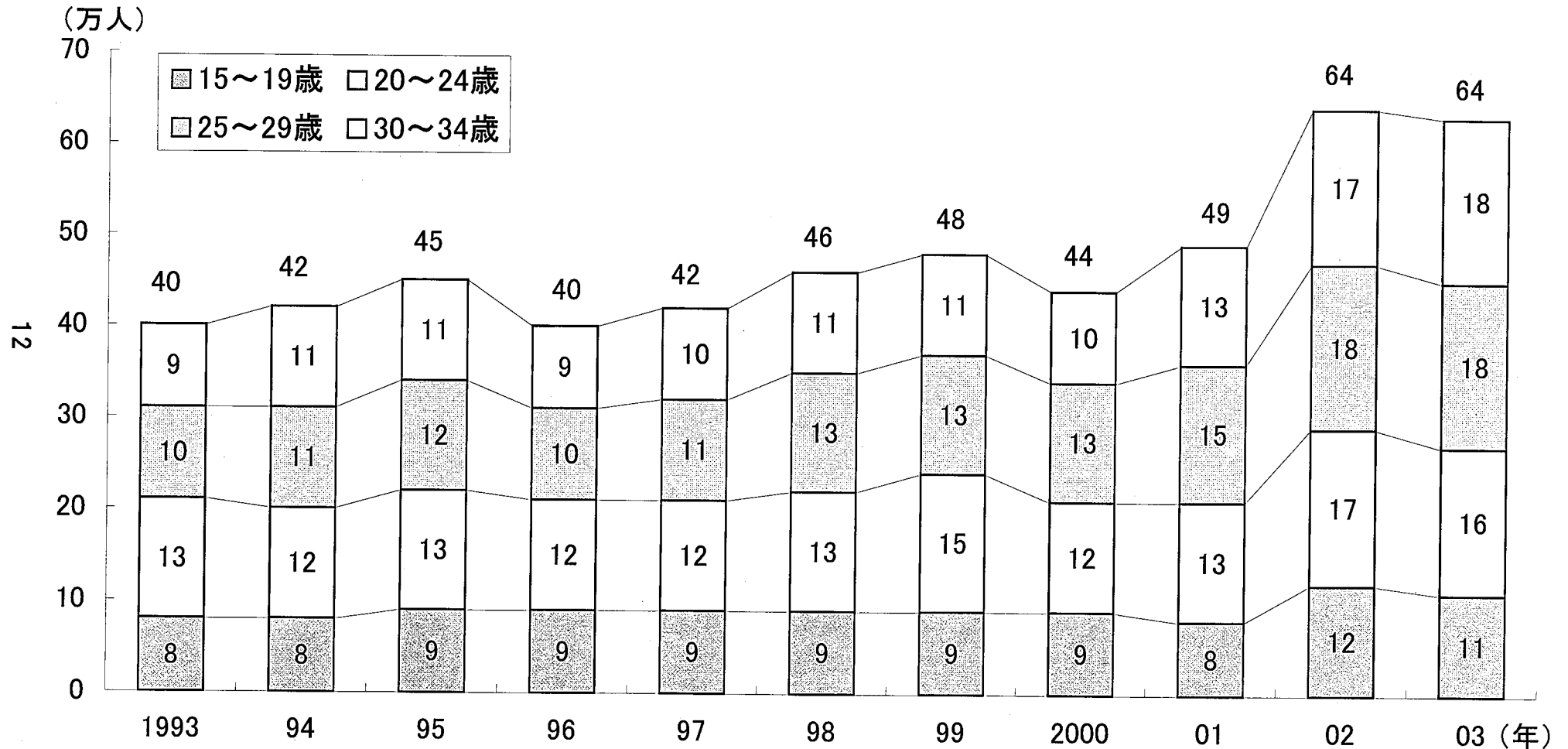
(資料出所) 総務省統計局「労働力調査特別調査」、「労働力調査(詳細集計)」

(注) 1. 各年2月、2002年以降は1～3月平均。

2. 2002年以降「派遣・契約・嘱託・その他」が「労働者派遣事業所の派遣社員」、「契約社員・嘱託」、「その他」に細分化されている。

# 無業者の増加

15～34歳の非労働力人口のうち、通学も家事もしていない若年無業者は、1993年の40万人から2003年には64万人と24万人増加している。

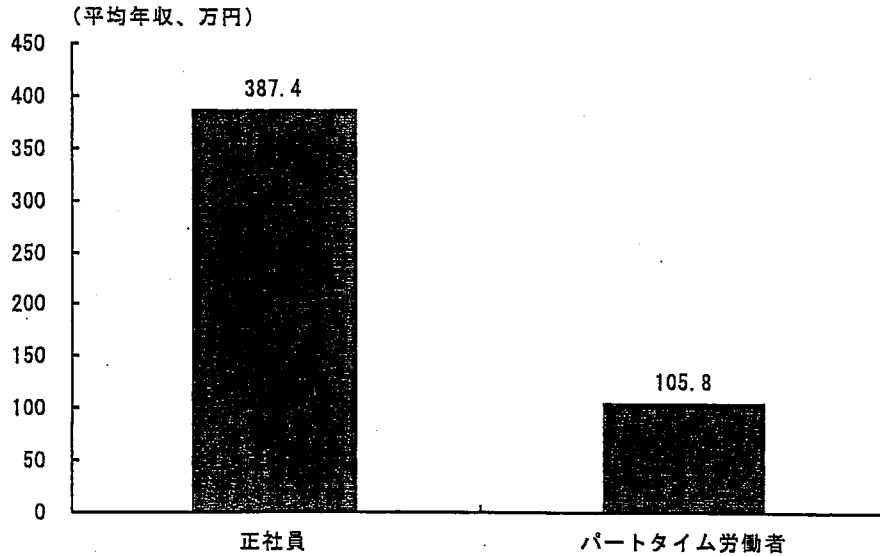


(資料出所)総務省統計局「労働力調査」

# 正社員とフリーターとの格差

(UFJ総研調査レポートより抜粋)

## 1 正社員とフリーターの平均年収



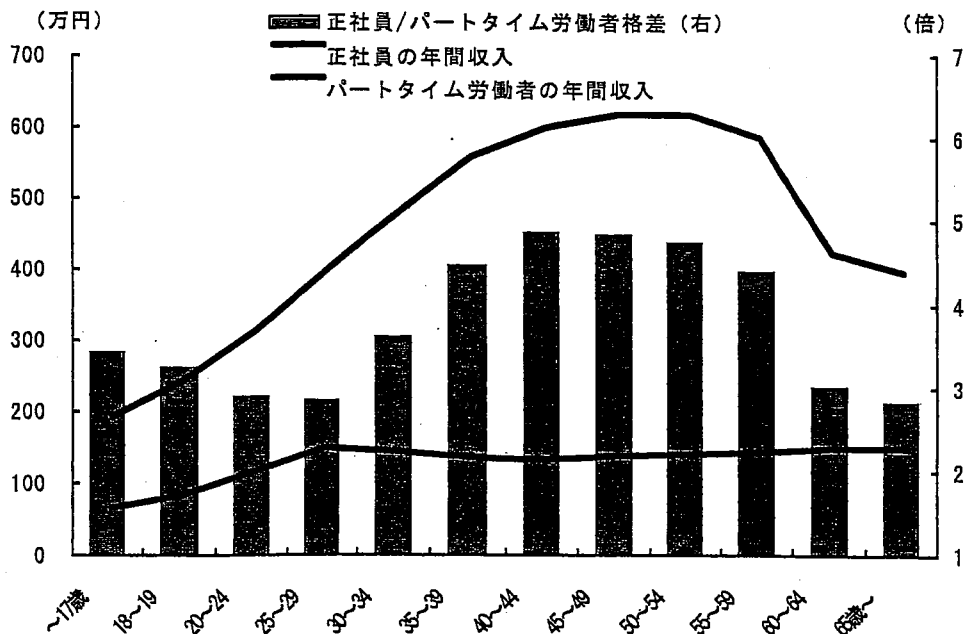
(注1) 対象は、15～34歳で、正社員は標準労働者のデータを用いた。

(注2) 標準労働者の年間収入＝所定内給与×12ヵ月＋年間賞与・その他の特別給与

(注3) パートタイム労働者の年間収入＝実労働日数×1日当たり所定内実労働時間数×1時間当たり所定内給与額＋年間賞与・その他特別給与額

(資料) 厚生労働省「賃金センサス」

## 2 正社員とフリーターの年功賃金カーブ (男女平均)

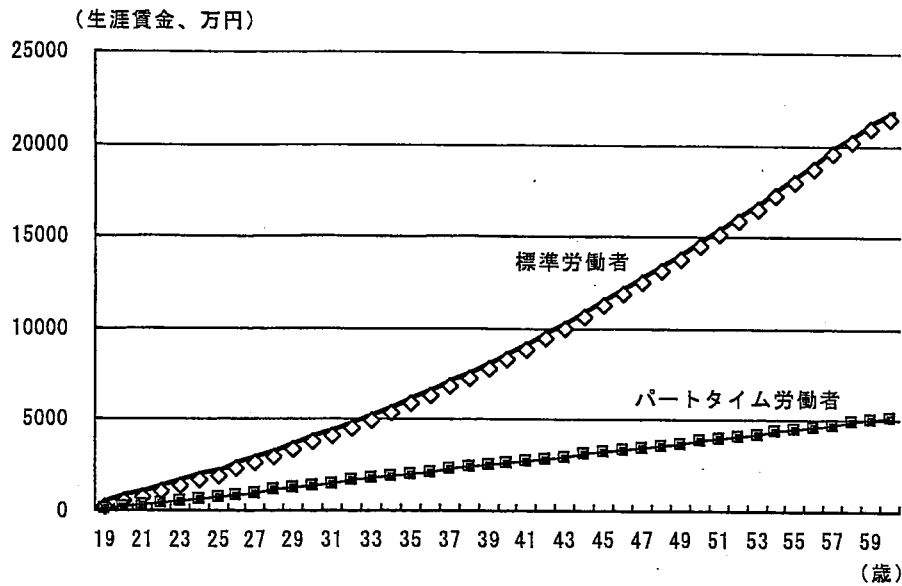


(注) ・正社員(常用労働者)の年間収入＝決まって支給する給与×12  
＋年間賞与・その他特別給与額

・パートタイム労働者の年間収入＝実労働日数×1日当たり所定内実労働時間数  
×1時間当たり所定内給与額＋年間賞与・その他特別給与額

(資料) 厚生労働省「賃金センサス」(平成15年版)

### 3 正社員（常用労働者）とパートタイム労働者の生涯賃金（高卒・男女平均）



(注) 仮に2002年に高校卒業後直ちに就職し、60歳まで同一企業に引き続き勤務した人と、2002年に高校卒業後就職せず60歳までパート・アルバイトを続けた人の生涯賃金。

(資料) 厚生労働省「賃金センサス」(平成15年度版)